

授業科目 解剖学 I

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学・作業
奈良 貴史		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎		
【概要・一般目標：GI0】					
解剖学 I では、人体の基本的構造のなかで骨格系と筋系を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 骨の機能を説明できる。 骨の構造を説明できる。 関節の構造を説明できる。 頭蓋を構成する骨の名称、位置、機能を説明できる。 体幹を構成する骨の名称、位置、機能を説明できる。 上肢を構成する骨の名称、位置、機能を説明できる。 下肢を構成する骨の名称、位置、機能を説明できる。 筋の機能を説明できる。 筋の構造を説明できる。 頭頸部の筋の名称、起始、停止、作用、支配神経を説明できる。 体幹の筋の名称、起始、停止、作用、支配神経を説明できる。 上肢の筋の名称、起始、停止、作用、支配神経を説明できる。 下肢の筋の名称、起始、停止、作用、支配神経を説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	骨学総論 骨の機能			1	講義
2	骨学総論 骨の構造			2	講義
3	骨学総論 関節の構造			3	講義
4	骨学各論 頭蓋の骨 顔面頭蓋			4	講義
5	骨学各論 頭蓋の骨 脳頭蓋			4	講義
6	骨学各論 体幹の骨 脊柱			5	講義
7	骨学各論 体幹の骨 胸郭			5	講義
8	骨学各論 上肢の骨 上肢帯の骨			6	講義
9	骨学各論 上肢の骨 上腕・前腕の骨			6	講義
10	骨学各論 上肢の骨 手の骨			6	講義
11	骨学各論 下肢の骨 下肢帯の骨			7	講義
12	骨学各論 下肢の骨 大腿・下腿の骨			7	講義
13	骨学各論 下肢の骨 足の骨			7	講義
14	関節学各論 脊柱の連結			3, 4, 5	講義
15	関節学各論 上肢の連結			3, 6	講義
16	関節学各論 下肢の連結			3, 6	講義
17	筋学総論 筋の機能			3, 7	講義
18	筋学総論 筋の構造			3, 7	講義
19	筋学各論 頭頸部の筋			8	講義
20	筋学各論 体幹の筋			9	講義
21	筋学各論 上肢の筋 上肢帯の筋			10	講義
22	筋学各論 上肢の筋 上腕・前腕・手の筋			11	講義
23	筋学各論 下肢の筋			11	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		標準理学療法学・作業療法学 第3版	専門基礎分野 解剖 奈良 勲、鎌倉矩子	医学書院	2010・6,000円＋税
参考書		骨学実習の手引き	寺田春水、藤田恒夫	南山堂	2000・4,000円＋税
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席状況、小テスト、期末試験の総合評価			予習・復習を欠かさないことが重要です。		